

十二月二十四日 月曜日 晴

今日映画会であるが、もう明日からは冬休みである。冬休みといってもたいしたことはない。たった二週間であるが、たのしい正月ももうまじか。来年ももう目の前です。

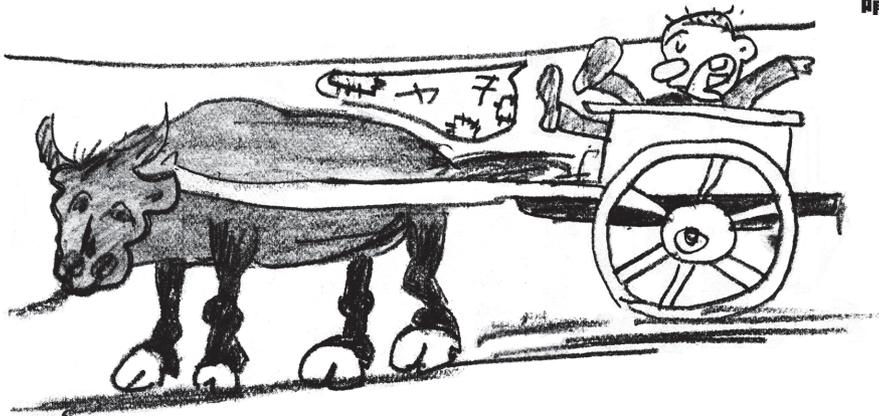
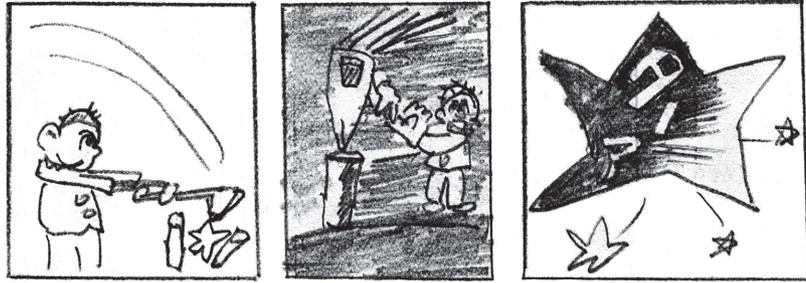
映画も、早く見たいと思ったが、今日は中止といわれてがっかりした。つうしんぼをもらって帰ろうとしたら、みんなが写真をもっていたので見たら、この前の校内駅伝で勝って写した時のでした。その写真



を見て買いたかった。もう休みなので、買うのもしよがなかつた。写真を写してもらうのは、ぼくはきらいではなかつた。
家へ帰ってきて、ごはんをたべて、ひるねをした。いつのまにか、ねむたくなってねてしまったので、おきたら四時半です。早く牛にえさをかせた（食わせた）。



十二月二十六日 水曜日 晴



今日は、家の人がまきが大きくてしょうがないといったので、ぼくはまきわりをしました。あせがポタポタと出た。
そしてひぐれに山へくずとりに行った。山道なのでガタ／＼道です。そして帰ってきてみたら、もううす暗くなった。そしてくずをかたしたらもう真暗だった。夜、あんまり長湯だったので、あたまがボーとしてうすきもちがわるかった。

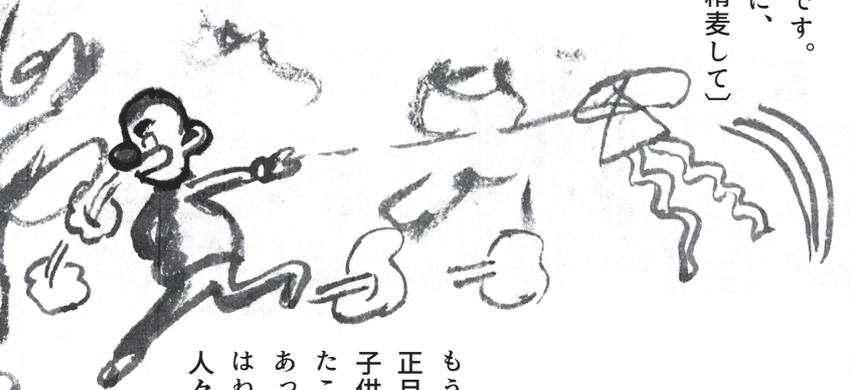


今日はひじょうに寒いです。
 しものところけないうちに、
 じむしょへ麦つけて「精麦して」
 あるかきぎにいった。

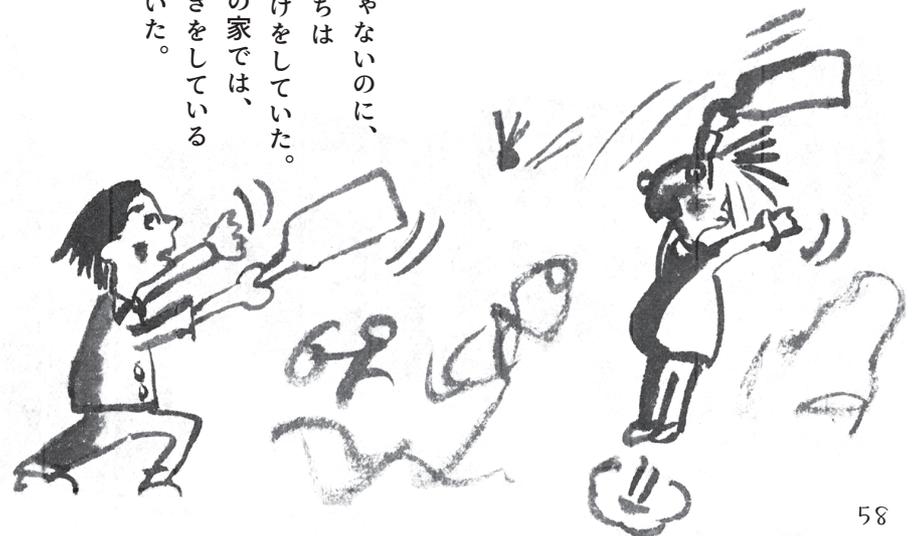


出来ていたので
 自転車の荷つみへらせて、
 家へ帰ってきた。

おとこが走っている



もう
 正月じゃないのに、
 子供たちは
 たこあげをしていた。
 あっちの家では、
 はねつきをしている
 人々もいた。



今日はひじょうに暖かいので
 めくとかいた。晴れた空に
 雲もななかなたあつた。あんな
 まりふっとんであそんだ
 せいか今日はあかたかったか
 たら庭のすみこでひやまを
 もしてあたるもすのはこのあ
 だ。こいたがうかせいの末であ
 あたりながらうらうらかせいを
 やいてたつた。あんなありこ
 げた。やまをたつたら口の中
 ジューと音がした。舌を
 やけどしてしまった。なにも
 仕事するもかないのであ

そんでしまった。



夜寝る
 ときも
 ずかし

「野菜の消毒②」

7月1日 月曜日 曇時々雨

*消毒作業の前に、噴霧器の圧力をかけるためにポンプを60回押しした。



「60回」
「こんどは、すいかだ」
「つらいよなかなか」
「また雨だ いやあ」
石油 ガソリン オイル 四角

「野菜の消毒①」

6月25日 火曜日 晴のち曇



今日の午前は消毒した 「一本だてにしたから、二本のよりのびが早いよ」
「これで消毒も終わった」 「六軒へいくんだ」 「粉屋もずいぶんきれいになったなあ」
「おれと同級のやつが帰っていくぞ」 しづかの野郎にいきあった 「オス」

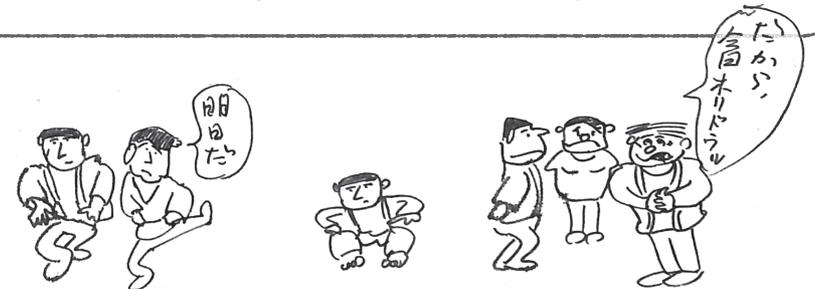
「発動機の故障」

7月2日 火曜日 晴

*当時は発動機にかけたベルトで精米機を回転させていた。この日は発動機のエンジンがかからず難儀した。



「今日は、いい天気だ」 「うわあまっくらだあ」 米つき(精米)に行った 「かからないなあ」

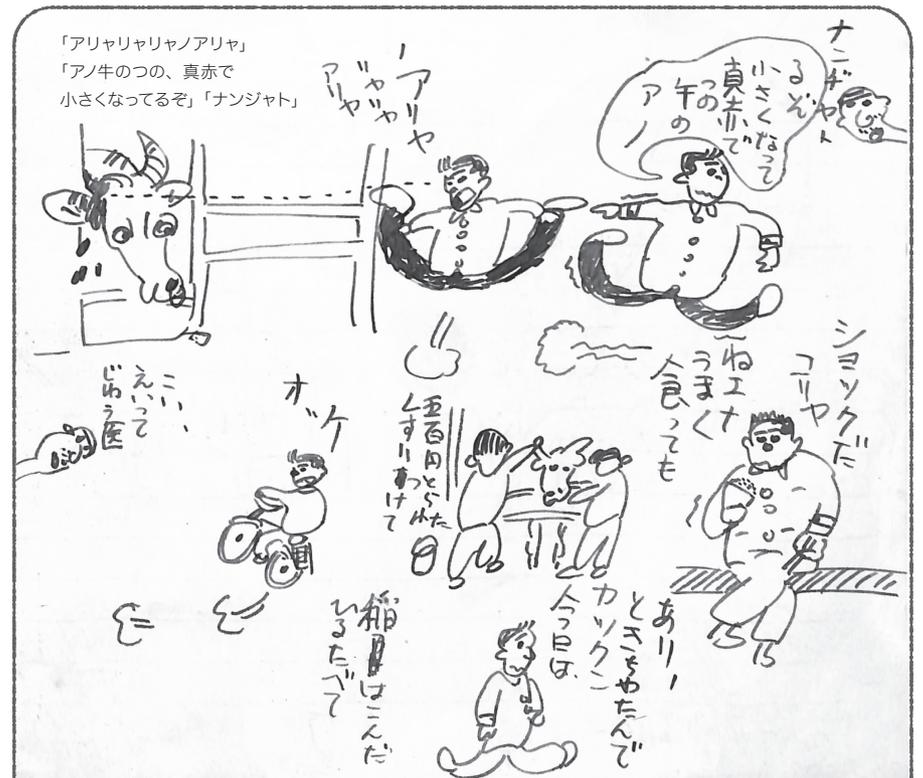




「今日は、おしゃれをして」「コンニチワ」「アリアだれだろ」
 「おてらのおばさんか」「コンニチワ」 西瓜の十周年記念である 「であるのである」
 かたいこわめし(赤飯)だな 「では、みなさんカンバイ」
 木下へ映画見に行った 夜、学校にも見に行った



毎日天気が続くので、仕事が思うように行くな
 今日は昼からヨサンコ(町内会の寄合)だ



「じゅう医へいってこい」「オクケ」くすりつけて五百円とられた
 「食ってもうまくねえナ コリヤショックだ」 ひる食べて稲はこんだ 今日カクコンときちゃったのである